

企業会計に準じた手法で

平成19年度末の財政状況を公表します

平成19年度末のバランスシートおよび平成19年度中の行政コスト計算書を報告します。

例年は「広報なか3月号」に掲載していましたが、今年度は平成19年度決算の状況とあわせてお知らせします。

企業会計に準じた手法では、今年度の行政運営に要した経費は、今年度の市の歳出額と完全には一致せず、過去に整備した建物の建設費や将来の負担額等のように、今年度は歳出額がなくとも、今年度の行政運営に必要な経費も含めて計上することになります。このため、決算とあわせてお知らせすることにより、市の財政状況をよりの確にご理解いただけるものと考えております。

平成19年度末 那珂市普通会計 バランスシート (平成20年3月31日現在)

(単位：千円)

借 方	
資産合計	64,460,323
【資産の部】	
1 有形固定資産	57,875,052
(1) 総務費	3,121,487
(2) 民生費	1,826,933
(3) 衛生費	2,384,229
(4) 労働費	0
(5) 農林水産業費	2,248,164
(6) 商工費	379,652
(7) 土木費	27,828,961
(8) 消防費	1,515,907
(9) 教育費	16,821,681
(10) その他	1,748,038
(うち土地で所有するもの)	(18,545,197)
2 投資等	4,221,633
(1) 投資および出資金	1,879,657
(2) 貸付金	75,198
(3) 基金	
特定目的基金	1,706,446
土地開発基金	560,332
定額運用基金	0
基金計	2,266,778
退職手当組合積立金	0
3 流動資産	2,363,638
(1) 現金・預金	
財政調整基金	705,045
減債基金	419,831
歳計現金	646,679
現金・預金計	1,771,555
(2) 未収金	
地方税	561,142
その他	30,941
未収金計	592,083
資産合計	64,460,323

貸 方	
負債・正味資産合計	64,460,323
【負債の部】	
1 固定負債	21,676,072
(1) 地方債	17,150,591
(2) 債務負担行為	
物件の購入等	0
債務保証または損失補償	6,187
債務負担行為計	6,187
(3) 退職給与引当金	4,519,294
2 流動負債	1,815,400
(1) 翌年度償還予定額	1,815,400
(2) 翌年度繰上充当金	0
負債合計	23,491,472
【正味資産の部】	
1 国庫支出金	5,321,367
2 都道府県支出金	1,753,830
3 一般財源等	33,893,654
正味資産合計	40,968,851

債務負担行為に係る補償等(本表に計上したものを除く)
 物件の購入に係るもの 287,959千円
 債務保証および損失補償に係るもの 1,500,000千円
 利子補給等に係るもの 0千円

バランスシートは、平成19年度末現在の時点で、市にどれだけの財産や借金があるかを表しています。
 バランスシートの左側(借方)は、市の資産が平成19年度末の時点で、どのような状態になっているかを示しています。道路や学校等の有形固定資産、貸付金等の投資等、預金や納期限が過ぎている未納の税金等の流動資産に分類しています。
 一方、右側(貸方)は、平成19年度末の時点でどのように資金を確保してきたのかを示しています。

平成19年度 那珂市普通会計 行政コスト計算書
(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位：千円)

【行政コスト】	
1 人に関するコスト	4,073,708
(1) 人件費	3,832,487
(2) 退職手当引当金繰入等	241,221
2 物に関するコスト	5,165,903
(1) 物件費	2,494,531
(2) 維持補修費	238,236
(3) 減価償却費	2,433,136
3 移転支的的なコスト	5,965,642
(1) 扶助費	2,025,373
(2) 補助費等	1,292,478
(3) 繰出金	2,241,902
(4) 普通建設事業費 (他団体等への補助金等)	405,889
4 その他のコスト	469,813
(1) 災害復旧事業費	0
(2) 失業対策費	0
(3) 公債費(利子分のみ)	407,757
(4) 債務負担行為繰入	0
(5) 不納欠損額	62,056
行政コスト	a 15,675,066

【収入項目】	
1 使用料・手数料等	b 1,068,946
2 国庫(県)支出金	c 1,836,324
3 一般財源	d 11,533,669
収入合計(b+c+d)	e 14,438,939
4 正味資産国庫(県)支出金償却額	f 323,710
5 期首一般財源等	35,666,144
差引(e-a+f) 一般財源等増減額	912,417
調整額(資産評価差額等)	860,073
6 期末一般財源等	33,893,654

行政コスト計算書は、市が平成19年度中に実施した事業のうち、平成20年度以降に資産を残さない給付金などの行政サービスの提供のために、どのようなコストがかかったのかを示したものです。

現在、総務省から、人口3万人以上の市については、平成21年秋から、バランスシート等の整備・公表が求められています。この整備にあわせ、作成要領の変更がなされているため、当市においても、資産評価方法の変更や、市全体のバランスシートの作成、公表方法の拡充等の見直し作業を行っています。今後、より効果的な行政運営のための取り組みをすすめていきます。

このバランスシート・行政コスト計算書は、総務省「地方公共団体の総合的な財政分析に関する調査研究会報告書」(平成13年3月)所収の作成要領に準拠して作成しました。

このバランスシート・行政コスト計算書において計上した「普通会計」とは、公営事業会計以外の会計です。当市においては、一般会計・公園墓地事業特別会計・介護サービス事業特別会計・上菅谷駅前地区土地区画整理事業特別会計を合算して計上しています。

問い合わせ
財政課財政係 ☎298・1111
内線522